

学級活動

生徒会活動

○ 学校行事

令和7年度生徒指導サポート実践校「特別活動の取組事例」

学校名	三次市立十日市中学校	対象となる主な学年	全学年
取組事例名	「体育大会 応援合戦」		

◆ 生徒の実態及び取組を通して育てたい生徒像

生徒の実態	取組を通して育てたい生徒像
学年での行事や活動は、協力して取り組むことができている。しかし、学年を越えての交流が少ないので異年齢との関りが活発でない。	異年齢集団で協力したり、交流することができる人間関係形成を育む。



◆ 取組の具体的内容

取組を実施する意図及びねらい

- ・ 生徒の自信と意欲を育て、自己有用感を高める体育大会にする。
- ・ 集団活動を通して、縦（学年）横（学級）の共感的な人間関係を築く。

取組の流れ・創意工夫・生徒の変容等

（事前の指導・導入）

- ・ 体育大会に向けて、縦のつながりをつくることを意図して、全校で縦割りの団を結成した。全校での体育大会練習の初回に結団式を行い、各団の団長からの決意表明、各学級のリーダーからの意気込みを発表させた。生徒は、団長を中心に盛り上がっていた。

（取組内容①）

- ・ 応援合戦の練習を各団3年生のリーダーを中心に6時間行った。最初は団をまとめることができない団もあり、生徒同士でどのようにすればうまくまとめられるのか、試行錯誤する様子が見られた。最後の練習では、自分の団のことはもちろん他の団についても応援したり励ましたりする姿が見られ、学校全体で体育大会を成功させたいという雰囲気になった。

（取組内容②）

- ・ 体育大会が終わって各団で解団式を行った。3年生のリーダーが涙して感謝の気持ちを伝えることができた。体育大会の練習や体育大会当日の様子からリーダーは頼もしく成長し、生徒主体で行事を成功させることができ、自己有用感が高まった。

（事後の指導）

- ・ 体育大会の振り返りの場面では、メッセージカードを3年生が作成し、1、2年生に向けて協力してくれたことへの感謝の気持ちを伝えることができた。また、1、2年生もメッセージカードを3年生に向けて作成した。3年生のようになりたい、来年も楽しい体育大会にしたいと感じた生徒も多かった。

◆ 成果（○）と課題及び今後に向けて（●）

- i-checkの結果から「行事などがあるとき、あなたのクラスは盛り上がって団結しますか。」の肯定的な回答は3年生が97.8%だった。生徒同士のつながりが深まった。
- 文化祭の合唱練習でも体育大会での縦割り集団で行った。意見やアドバイスが言いやすい雰囲気もあり合唱練習が充実した。
- 生徒主体の取組であったが、生徒だけにすべてを任せるのではなく、教員が適宜アドバイスをしながら進めていく必要がある。